



「奈良の未来を創る」チャレンジ予算

奈良県知事 荒井 正吾

今年一月、平城遷都1300年祭が開幕しました。大極殿の完成式典を始め、十月には、日本の歴史が連続と続いたことを祝い、感謝する「祝典」を挙行します。また、日本と東アジアの将来が、平和と繁栄に向かうようお願い「東アジア未来会議奈良2010」を開催します。

訪れた方々に、奈良の奥深い魅力を味わっていただき、気持ちよく帰っていただくよう、県民の皆様とともに、もてなしの心を持って国内外の方々をお迎えし、今後、奈良の活力につながるよう精一杯努めてまいります。

さて、我が国を取り巻く状況を見てみますと、景気は依然として厳しい状況下にあり、本県においても、県税収入の落ち込みを始め、県政にも深刻な影響を及ぼしています。

知事就任から三年、奈良は何を目標にしたらいのかを検討してきましたが、こうした困難な状況のときこそ、将来に向けた新たな芽を出すように、「こうあればいい」「これを目指したい」との願いを、五つの構想案として目標に掲げ、県政運営に取り組む所存です。

奈良の未来を創る 五つの構想案

これまでにあきらかになっっている事件・事故・問題点を調査・分析して、政策課題を発見し、これらを良くする、こうなればいいという県の願いと対応の候補を、次のとおり五つの構想案としてまとめました。これをもとに、県民の皆様から意見をいただきながら、調整し、おおむね同意を得られたものから実行に移していきたいと考え

ています。

①じつくり楽しみ、また訪れたくなる奈良、世界に通じるブランド力のある奈良を目指す「ポスト1300年祭構想」 ②雇用・消費・投資が県内で活発に循環することを目指す「ポストベッドタウン奈良構想」 ③安心して健やかに暮らせる、健康長寿県奈良を目指す「健やかに生きる構想」 ④生涯を通じ、いきいきと学び・暮らし・愛着と誇りを持つことができる奈良を目指す「奈良に暮らす構想」 ⑤豊かな自然の中でいきいきと働き、安心して暮らせるふるさとづくり・環境づくりを目指す「南部を元気にする構想」

※構想はすべて仮称です。

主な政策と取組み

「地域の自立を図り、くらしやすい奈良を創る」ため、「経済活性化」と「くらしの向上」を二本柱として、オリジナルな知恵を出し、実現可能なものから重点的に取り組みます。

「経済活性化」

①活力ある産業づくり
県内企業の活性化と企業誘致の推進に向けて、インフラ整備を推進し、立地環境の向上に努めます。

②観光の振興

1300年祭を一過性のものとしなないため、周遊型観光地としての魅力の向上、オフシーズン対策、宿泊力の充実やおもてなしの向上、奈良公園周辺の環境整備などを重点的に進めます。

③県内消費の拡大と雇用対策

商店街活性化支援、県内雇用促進に向け

た求人・求職のマッチング支援、「平城遷都1300年記念プレミアム商品券」を発行し、県内消費の拡大とサービス業等の活性化を図ります。

④農林業の振興

意欲ある担い手の確保・育成を進めるほか、農地の有効活用、森林の適切な整備と保全を進めます。

「くらしの向上」

⑤健康長寿の奈良県づくり
「健康づくり」「医療の充実」「福祉の充実」の三つの視点から、安心して健やかにくらす健康長寿県を目指します。

⑥教育の充実

課題となっている児童・生徒の体力、規範意識向上のため、家庭・学校の協働プロジェクトを進めます。また、公民館等での通学合宿を始め、地域の教育力の充実を図ります。

⑦安全・安心の確保

防災・危機管理の強化を図るため、初動体制の強化や自主防犯活動の拡大に努めます。

⑧くらしやすいまちづくり

美しく風格のあるまち並みを守り、きれいでくらしやすい生活環境の創造に努めます。また、低炭素社会の実現に向けた取組みを進めます。

以上のように「奈良の未来を創る」という意思を明確にし、直面する難題にたじろぐことなく、積極的にチャレンジしてまいります。